

## 地域の支え合いによる除排雪事業費補助金

▼少子高齢化による雪処理の担い手不足や地域コミュニティの低下から、地域における除排雪の仕組みづくりや地域コミュニティの機能強化の必要性が高まっています。

▼令和元年度～令和3年度までの3年間、地域の支え合いで雪対策を行う団体を、市が支援するモデル事業を実施しました。

▼これまでの評価を踏まえて制度内容を見直し、今年度から本格運用します。

■申込・問合せ／地域振興課地域振興担当 ☎(22) 5111

### 「地域の支え合いによる除排雪事業費補助金」概要

地域内で地域住民を対象に行う、地域内の助け合いによる除排雪活動や除排雪体制の整備に対して補助金を交付します。モデル事業に参加いただいた団体からの声をもとに、補助対象経費を分かりやすく整理し、実績報告書類を簡素化するなど、より使いやすい内容へ見直しました。

■対 町内会、隣組など、集落や地区などを単位として地域住民で組織する団体。  
※地域での話し合いに出席し、除排雪活動などに参加するのであれば、地区外の人が所属しても構いません。

■対象事業例／地域の高齢者宅を中心とした除排雪活動、雪処理の担い手育成のための講習会の開催、通学路や生活道路の幅出しなど。

■補助金額／補助対象経費の全額（上限10万円、1,000円未満切り捨て）  
※審査結果や予算の都合上、申請額から減額される場合があります。

■締 11月2日(水)

■方 申請書類を揃えて地域振興課へ提出してください。

■注意事項／他課の実施する補助金との併用はできません。また、除雪する人自身の敷地内や自宅間口の除排雪は補助対象外です。団体メンバー全員にボランティア活動保険へ加入いただけます。

詳細は市ホームページから



### モデル事業参加団体

### 「米沢市西部地区克雪・クリーン作戦対策協議会」 にお話を聞きました

会長 おおひら ていぞう 大比良 悌三 さん (写真右) 幹事・会計 よこやま しげお 横山 繁雄 さん (写真左)



昨年度まで試験的に実施していたモデル事業へ参加いただいた「米沢市西部地区克雪・クリーン作戦対策協議会」にお話を伺いました。

同会は年間を通して地域活動を行っており、春や秋は清掃活動や花いっぱい活動、そして冬は地域の除排雪活動や危険箇所の見回りなどを行っています。モデル事業の期間中は補助金を活用し、地域の高齢者宅の間口除雪のほか、除雪中の事故を防止するために雪下ろし講座を開催していました。

メンバーの大半は高齢者で、最高齢は85歳です。いずれは「除雪する側」から「除雪してもらおう側」になると語る大比良さん。「一部の人だけが頑張るのではなく、町内会や隣組単位など、地域一体となって活動していくことが大事であり、持続的に活動するには補助金はありがたい」と、地域全体で助け合っていく重要性を強調しました。

活動を継続していくために大切なこととお聞きすると「見返りを求めない、地域をより良くしたいというボランティア精神」と話してくれた大比良さんと横山さん。担い手の高齢化が進む中で、次の世代にバトンをつなぐためには「地域の中でとにかく“話題”にすること」だと言います。「自分たちは除雪活動を楽しむようにしている。いろんな世代の人と交流できるし、除雪って健康にもいいんですよ」と笑顔で活動の秘訣を教えてくださいました。

